

令和7年度 総合教育会議資料

小規模特認校における取組みについて



令和7年11月11日（火）
荒尾市教育委員会事務局

小規模特認校制度とは・・・

▼少人数を生かした特色ある教育活動を展開する小規模校について、児童や保護者の方が希望する場合に、居住地の指定通学区域を越えて、市内全域から児童の就学を認める制度

▼少人数であることから、ゆとりをもった教育が可能

▼主に複式学級の回避及び学校・地域の活性化を目的として設置される。

県内の小規模特認校制度導入状況

自治体名	学校名	対象学年	その他	制度開始時期
熊本市	本荘小	新1年生	名称:ハーモニースクール	令和6年度
	芳野小	新1年生		
	中緑小	新1年生～6年生		
	川口小	新1年生		
	山本小	新1年生～3年生		
	田原小	新1年生		
	田底小	新1年生		
宇土市	網田小・網田中	全学年	小中一貫教育 定期代の4分の3の助成制度あり	平成27年度
水俣市	久木野小	全学年		平成31年度
山鹿市	鹿北小・鹿北中	全学年		令和3年度
菊池市	花房小	全学年		令和7年度
	戸崎小	全学年		
	泗水中	全学年		
(県外)				
大牟田市	上内小	全学年		平成24年度
	玉川小	全学年		令和5年度
荒尾市	府本小	新1年生		令和7年度

小規模特認校制度導入の経緯

▼平成24年に改訂した「荒尾市学校規模適正化計画後期計画素案」にて、平成28年4月1日に八幡小と府本小の統合を計画

▼平成26年1月に府本小校区有権者数の約7割の反対署名が提出されたことを受け、翌月、統合を見送った。

▼平成27年に文科省は少子化を踏まえ「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を策定。少子化に対応した活力ある学校づくりを求め、小規模特認校制度を手段の一つとした。

▼令和4年度、小規模特認校導入の検討を進めることとした。

令和4年度第1回荒尾市総合教育会議にて、小規模校のメリット最大化及びデメリット最小化を図り、存続のための充実策に取り組む方針を決定。

▼令和4年に府本地区協議会に対して小規模特認校制度の内容を説明。地域に概ね理解され、令和5年7月に府本小学校運営協議会から小規模特認校の設置をお願いする「荒尾市教育委員会への意見書」が提出された。

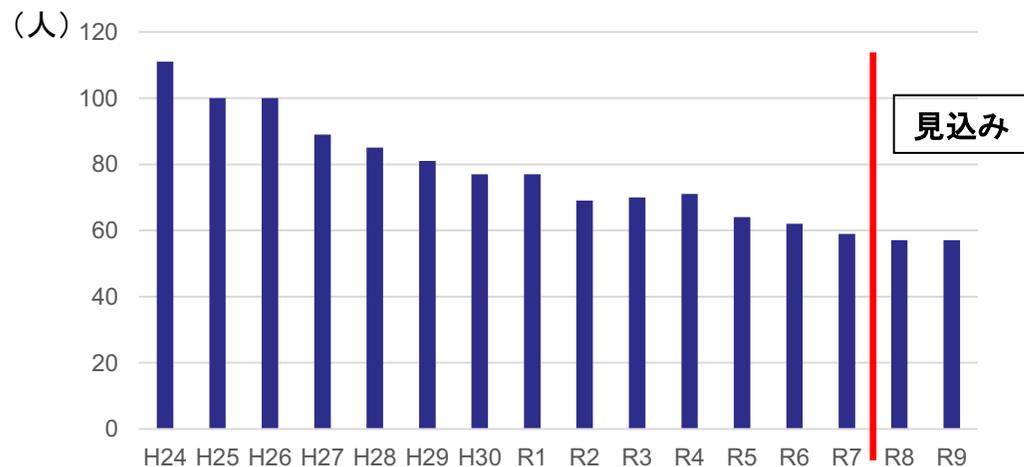
小規模特認校制度導入の目的

▼府本小学校の複式学級化の回避

※複式学級→2つ以上の学年の児童数が合計16名以下の場合に適用

▼児童数の増加による学校及び地域の活性化

▼府本小の特色及び少人数の良さを活かした教育の提供



【府本小児童数の推移】



府本小「本物体験」の様子

府本小学校の魅力

府本小学校 グランドデザイン

【学校目標】 かしこく、やさしく、たくましく

郷土を愛す「ふもとっ子」の育成

魅力① 地域に根差した学校運営

魅力② 少人数学級を生かした主体的な学びの促進

魅力③ 学校運営協議会等の協力による本物体験

魅力④ 自然豊かな恵まれた環境



荒尾市小規模特認校制度の概要

▼開始時期 令和7年度新入学児童から

▼対象者 次年度に新入学予定の市内居住者

▼入学の要件

- ①保護者と児童が市内に居住していること
- ②府本小学校の教育活動方針に賛同すること
- ③保護者の負担と責任において通学できること
- ④学校活動等について理解し協力できること

府本小学校教育活動方針

少人数学級を生かし、一人一人のよさと能力を伸ばすとともに、自然豊かな環境のもとで学校運営協議会を中心とした地域とともにある学校づくり

【本物体験など（大豆づくり、小代焼きづくり、お茶づくり）】

小規模特認校制度の成果①

【学年別児童数】※通常学級在籍者のみ

	R5	R6	R7	R8	R9
1年生	9	9	10	10	10
2年生	9	10	9	9	10
3年生	11	10	10	9	9
4年生	8	11	9	10	9
5年生	13	9	11	9	10
6年生	14	13	10	10	9
計	64	62	59	57	57

【小規模特認校制度の成果】

▼令和7年度 1名入学 入学児童：9名→10名

▼令和8年度 4名入学予定 入学予定児童：6名→10名


複式学級回避

※複式学級
2つ以上の学年の児童数が合計16名以下の場合に適用。ただし、1年生を含む場合は8名。

小規模特認校制度の成果②

【令和7年度入学児童の現在の様子】 ※学校及び保護者に聞き取り

- ▼少人数学級にて主体的に授業に参加し、充実した学校生活を送っている。
- ▼入学後、学年を問わずたくさんの友達ができ、学校生活を楽しんでいる。
- ▼地域の一員として、親子でPTA活動や地域の除草作業等に積極的に参加されている様子
- ▼保護者から府本小学校を選択してよかったとの意見あり

【令和8年度入学予定児童の小規模特認校申請理由】 ※申請時の面談にて聞き取り

- ▼少人数学級でマンツーマンに近い教育を受けたい。
- ▼野菜づくりや小代焼づくり等の本物体験を体験したい。
- ▼自然豊かな環境で学校生活を送りたい。
- ▼府本小校区に転居したいが賃貸住宅が少ないため、小規模特認校制度を活用した。

課題と今後の方針について

【課題】

▼対象者の拡大

現在、対象学年を次年度入学予定者に限定しているが、本制度をより効果的に推進するため、対象学年の拡大について検討する必要がある。一方、府本小の地域密着型という特性を維持するため、定員の設定についても合わせて検討する必要がある。

今後の方針

府本小学校の児童数の推移を注視しつつ、学校の特色を生かした持続可能な学校運営を推進するため、上記課題について対応策を検討する。